



3年生を送る会

校長 鈴木 二三哉

3月14日、三年生を送る会が終了して、今、わたしは校長室に戻って来てこの文章を書いています。

500人を超える生徒の合唱の迫力、一糸乱れぬ全体応援、三年生からのメッセージ…、また一つ感動を覚えました。これだけの会を作り上げるため、三年生も一・二年生も長期間にわたって練習をしてきました。会が終了して三年生が退場した後、応援団長の小沼龍希さんから一・二年生に向けての言葉がありました。

「感謝の気持ちがあるから『ありがとう』の言葉が言えるのだと思います。」その場に居合わせた全ての人が、きっとそう思ったことでしょう。応援団の諸君、ありがとう。

一・二年生から三年生に贈られた言葉として「私たちが引っ張ってくれてありがとう」、三年生から一・二年生には「私たちが支えてくれてありがとう」、応援団から一・二年生にも「立派に応援をしてくれてありがとう」、この会では「ありがとう」の言葉がシャワーのように全校生徒にふりそそがれました。

「ありがとう」は、自分を良い方向に導いてくれた時、感謝の気持ちを表す言葉として使われます。それは、良い方向に向かう自分の存在を自分自身が認めていることであり、対象となる相手に敬意を払っていることです。前々回の学校便りでも書いたことですが、たくさんの「ありがとう」が言える人は自尊心(自己肯定感)が高い人です。わたしは、毎日が、当たり前ではなく、有難いこととして「ありがとう」の言葉が生徒たちから日々満ち溢れていることを期待しています。

三年生にとって、明日が公立高校の発表日です。そして、土曜日に卒業式を迎えます。

この一年が、終わろうとしています。一年間、学校を支えてくださいましたご家庭の皆様、そして地域の皆様、本当にありがとうございました。来年度も、引き続き、よろしく願いします。



最終ステージ

【感謝】

ボランティアさんへ、感謝の気持ちを表す活動を行いました。

この1年間に様々な活動を行ってきました。その中でお世話になった人、物等に感謝の気持ちを表すことを目的にしています。まず、学校の顔として、リーダーとして蕪山中学校を引っ張った3年生に1, 2年生が感謝の気持ちを表す3送会を14日(火)に行いました。また、おいしい給食を作っていたいただいた給食調理員さん、読み語り

3年生を送る会



吹奏楽部の演奏に乗り、ステージから入場した3年生を在校生と保護者の皆さんの温かい拍手で迎え入れました。今年は、花の会の皆さんが素敵なバルーンアートで看板と会場を飾ってくださいました。

最初の出し物は1, 2年生からです。お世話になった3年生に感謝の気持ちを表す言葉と各クラスの映像が流れ、続いて思い出ビデオ、そして心のこもった「心の瞳」の合唱を、最後に伝統を引き継ぐ応援・ドスコイェールが3年生に送られました。3年生からは、1, 2年生に自分たちの思い、感謝を伝えようと応援・人文字を披露

しました。そして、自分たちのこれからの決意、感謝を込めた「道」の合唱を思い切り歌いました。さすが3年生目標となる合唱を示して会を盛り上げました。そして、生徒会を引退していく3年生から新たに生徒会を引き継ぐ29年度前期生徒

会役員に生徒会旗が手渡され、会を締めくくりました。



読み語りボランティアさん・調理員さん

ありがとうございました

今年度は、ボランティアさんによる読み語り8回、給食が183回ありました。それに感謝の気持ちを表しました。

3月10日に最後の読み語りがありました。その日に読み語りボランティアさんに、図書委員が中心となって作った各感謝の言葉を綴った色紙をクラスで、手渡しました。いつもおいしい給食を提供してくださる調理員さんには、給食委員が中心となり同じようにふれあいルームでお礼の言葉と共に手渡しました。

